



## はじめに

---

ここでは、このマニュアルの目的、構成、および関連製品やサービスに関する詳細の入手方法について説明します。ここでは、次の項について説明します。

- 「[目標](#)」 (P.v)
- 「[マニュアルの変更履歴](#)」 (P.vi)
- 「[マニュアルの構成](#)」 (P.vi)
- 「[関連資料](#)」 (P.vii)
- 「[表記法](#)」 (P.vii)
- 「[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#)」 (P.ix)

## 目標

この文書は Cisco CSR 1000V シリーズ クラウド サービス ルータ固有のソフトウェア機能の概要を示します。このマニュアルは、Cisco CSR 1000V シリーズ ルータを使用して実行できるソフトウェア機能のすべてを説明する完全ガイドではなく、このルータに特化したソフトウェア機能だけを説明します。

Cisco CSR 1000V シリーズ ルータでも使用できる一般的なソフトウェア機能については、その特定のソフトウェア機能の [Cisco IOS XE テクノロジー ガイド](#)を参照してください。

## マニュアルの変更履歴

次の変更履歴表は、このマニュアルにおける技術的な変更内容を記録したものです。この表には、変更に対応する Cisco IOS XE ソフトウェアのリリース番号とマニュアルのレビジョン番号、変更した日付、および変更点の概要を示します。

リリース	日付	変更点
IOS XE Release 3.7S (アベイラビリティ調節型)	2012 年 7 月 26 日	初回リリース
IOS XE Release 3.8S (アベイラビリティ調節型)	2012 年 11 月 28 日	Cisco IOS XE Release 3.8S のアップデート： <ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされる Cisco IOS テクノロジー機能への更新</li> <li><b>platform console</b> コマンドおよび <b>request license new-udi</b> コマンドの CLI アップデート</li> </ul>
IOS XE 3.9S	2013 年 4 月 1 日	Cisco IOS XE Release 3.9S のアップデート： <ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされる Cisco IOS テクノロジー機能への更新</li> <li>スループット ベース ライセンスのサポート</li> <li>Cisco Virtual Appliance Configurator (cVAC) ツールのサポート</li> <li>VMXNET3 vNIC インターフェイス タイプのサポート</li> <li>vSphere GUI を使用したプロパティ更新のサポート</li> </ul>

## マニュアルの構成

章	タイトル	説明
第 1 章	「Cisco CSR 1000V シリーズ Cloud Services Router の概要」	Cisco CSR 1000V シリーズ クラウド サービス ルータの概要を示します。
第 2 章	「Cisco IOS XE ソフトウェアの使用」	Cisco IOS XE ソフトウェアの概要を提供します。
第 3 章	「VM への Cisco CSR 1000V ソフトウェアのインストールおよびブート」	Cisco CSR 1000V シリーズ ソフトウェアを VM にインストールして、ルータをブートする方法について説明します。また、Cisco CSR 1000V のソフトウェア ライセンスの管理について説明します。
第 4 章	「Cisco CSR 1000V のプロパティの設定 vSphere GUI の使用」	vSphere GUI を使用して Cisco CSR 1000V のプロパティを編集または追加する方法について説明します。

章	タイトル	説明
第 5 章	「Cisco CSR 1000V ネットワーク インターフェイスの VM ネットワーク インターフェイスへのマッピング」	Cisco CSR 1000V のルータ インターフェイスを VM ネットワーク インターフェイスにマッピングする方法について説明します。
第 6 章	「Cisco IOS XE ソフトウェアのアップグレード」	Cisco CSR 1000V シリーズ上の Cisco IOS XE ソフトウェアのアップグレードについて説明します。
第 7 章	「コンフィギュレーション レジスタの設定変更」	コンフィギュレーション レジスタの設定を変更する方法について説明します。
第 8 章	「トラブルシューティング」	VM およびルータのパフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

## 関連資料

ここでは、Cisco CSR 1000V ルータを設定する際にも役立つその他のマニュアルについて紹介します。これらのマニュアルはオンラインで入手できます。

Cisco IOS XE Release のマニュアル ホームページには、テクノロジー ガイドと機能に関するドキュメントが掲載されています。このページは次の URL にあります。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps11174/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps11174/tsd_products_support_series_home.html)

コマンドの詳細については、次のいずれかのリソースを参照してください。

- [Cisco IOS XE ソフトウェア コマンド リファレンス](#)
- [Command Lookup Tool](#) (cisco.com へのログインが必要)

## 表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
^ または <b>Ctrl</b>	^ および <b>Ctrl</b> シンボルは、Ctrl キーを表します。たとえば、 <b>^D</b> または <b>Ctrl+D</b> というキーの組み合わせは、 <b>Ctrl</b> キーを押しながら <b>D</b> キーを押すことを意味します。キーは大文字で表記されていますが、大文字と小文字の区別はありません。
<i>string</i>	ストリングは、イタリックで示される引用符を付けない一組の文字です。たとえば、 <b>SNMP</b> コミュニティストリングを <b>public</b> に設定する場合、ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングと見なされます。

コマンド構文の説明には、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	ユーザが入力するコマンドおよびキーワードを示します。
イタリック体	イタリック体の文字は、ユーザが値を指定する引数です。
[x]	省略可能な要素（キーワードまたは引数）は、角カッコで囲んで示していません。
	縦棒で区切られている場合、複数の任意または必須のキーワードまたは引数から、1つを選択します。
[x   y]	角カッコで囲まれ、縦棒で区切られたキーワードまたは引数は、任意の選択肢です。
{x   y}	波カッコで囲まれ、縦棒で区切られたキーワードまたは引数は、必須の選択肢です。

省略可能または必須の要素内に、さらに省略可能または必須の選択肢を含める場合は、角カッコや波カッコを入れ子にして示しています。次に例を示します。

表記法	説明
[x {y   z}]	角カッコ内の波カッコおよび縦棒は、任意の要素内の必須の選択肢です。

例では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
screen	画面に表示される情報の例は、Courier フォントで表します。
<b>bold screen</b>	ユーザの入力が必要なテキストの例は、太字の Courier フォントで表します。
< >	山カッコで囲まれたテキストは、パスワードなど、画面に出力されないテキストを表します。
!	行の先頭にある感嘆符 (!) は、コメント行を表します（特定のプロセスでは、Cisco IOS XE ソフトウェアにより感嘆符が表示されることもあります）。
[ ]	角カッコは、システムプロンプトに対するデフォルトの応答です。

読者の注意を促す場合は、次の表記法が使用されています。



**注意**

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



**(注)**

「**注釈**」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

